

まちなみ瓦版

- 平成27年12月10日
- 年末臨時号
- 発行：湯浅伝建地区保存協議会
- 発行責任者：木下 智之

来年は、重伝建地区選定10周年！一足早く

地区住民親睦もちつき大会

を開催します！！

平成18年12月19日、醤油醸造で栄えた湯浅の歴史的な町並みが、我が国にとって価値が高いと認められ、和歌山県下初の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

あれから早いもので、来年は選定10周年を迎えます。きたる10周年にはみんなで『もちつき』をして盛大にお祝いしようと考えたのですが、いきなりするのはちょっと心配です…。

すると、「それなら一度試しにもちをついてみようじゃないか」ということになり、本当に急ですが、もちつきをすることにしました。



◆場 所：北の町老人憩の家

◆日 時：12月20日（日） 午後1時00分～



前日の19日と当日の午前中から準備を始め、実際におもちをつくのは20日のお昼からの予定です。もちつきをしたのはずいぶんと前ですので、よくわからないこともあります。ですので、経験のある方はアドバイスやお手伝いに来てください。もちろん、経験の無い方も大歓迎です。つきあがったおもちは、甘いあんこやきな粉も用意して、見に来ていただいたみなさんに振舞います。

師走で忙しいとは思いますが、懐かしい年末の情緒を一緒に楽しもうではありませんか！

【主催：重伝建10周年実行委員会】

『重伝建10周年実行委員会』結成

前ページでもお伝えしましたが、湯浅の町並みは、重伝建地区選定から来年で10周年を迎えます。この記念すべき年を迎えるにあたり、湯浅伝建地区保存協議会では、①私たち住民が自分たちで楽しめる様々な記念行事を行いたい、②町並みを訪れる多くの方々にも大いに楽しんでもらいたい、③町全体で盛り上げてほしい、と考えました。地区住民の力だけでは②や③は実現不可能なため、もっと多くの人との協力の輪を広げながら、まちづくりに取り組めるようにしようと、保存協議会とは別の組織を作ることとしました。それが『重伝建10周年実行委員会』です。

保存協議会は、住民が自分たちの住むまちをどうしていくか、自分たちで考え、話し合って意見を言うための場です。重伝建10周年実行委員会は、自分たちが楽しめることを基本としながらも、より全町的な取り組みを目指し、まちづくりに携わる他の人たちとの連携をさらに進めていきます。これまで保存協議会が主催してきた「雛人形展」や「天神飾り」などのイベントはもちろん、伝建地区が最もにぎわう



ゆあさ行灯アート展

「ゆあさ行灯アート展」も、来年はこの実行委員会で選定10周年の記念事業として開催していきます。この記事を読んで少しでも共感していただける方は、ぜひいろいろな活動と一緒にご参加ください。

【重伝建10周年実行委員会（会長 木下智之）委員構成】

所属	北町地区 保存協議会	北浜町地区 保存協議会	北中町地区 保存協議会	北鍛冶町地区 保存協議会	ゆあさ行灯アート展 開催準備会事務局
委員	太田 庄輔	半邊 宗五	木下 智之	三橋 雄作	守屋 成浩
	酒井 弘雄	若狭 幸子	須井 康文	道津 節子	芝 和宏

【お詫び】まちなみ瓦版の発行休止について

今年度は、まちなみ瓦版の発行が滞り、楽しみにして下さっていた方々にはご心配をお掛けし、申し訳ありませんでした。4月から12月までの記事は遅ればせながら順次発行していきますので、今しばらくお待ちください。

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思っております。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

楠山 吉雄
半邊 宗五
妻木 良三
道津 節子
齋藤 春太郎